

インターネットを使った郷土学習情報の提供

1. ホームページの開設（1999.8.22）と現状

<開設経過>

- ・行事や特別展などの案内方法の拡大
- ・販売物の案内方法の拡大
- ・他のサイトでの当館の紹介の増加
→責任ある案内を掲載する必要性

<現在の作製体制>

- ・ホームページはすべて職員の手作り
- ・ソフトはワープロとブラウザ、ハードはパソコンとデジカメのみ¹
- ・情報収集後すぐにページをつくり更新する

¹ホームページ制作機器

コンピュータ：マッキントッシュG 3BW、ワープロソフト：ナイサスライター、デジカメ：キャノン・パワーショット A50（130万画素）、他にフィルムスキャナ、フラットヘッドスキャナも使用

2. 発見したホームページの利点

- ・インターネットはカラーの放送局
- ・検索サイトとの組み合わせで、詳細な情報が提供できる
- ・検索該当数が少ない情報こそ地域学習に必要
- ・発信すべき内容は、地域的具体的なもの
- ・出版物にならない情報が発信できる
- ・埋もれていた情報が生き返る
- ・展示・行事が報告できる
→速報性よりも蓄積

²検索サイト

Yahoo!、NTTgoo、LYCOSなどで「サーチエンジン」ともいう。検索対象は、タイトルだけでなく、ページに含まれるすべての語が含まれる。ただし、沢・澤、齋藤・斎藤・斉藤などは別の文字として区別される

3. 将来の課題

- ・過去の出版物³の掲載
- ・特徴あるリンクの充実
- ・地域の利用体制の確立

³過去の出版物

郷土学習シリーズ（年1回発行全20巻）、特別展図録（年1回発行現在20回）、研究報告（年1回発行現在20集）、博物館のひろば（年4回発行現在74号）、ふしぎ博物館（広報裏表紙年12回現在No.46）、タンネウシ（会員向け年12回発行現在No.97）、以前に広報裏表紙に「ぼん太の博物誌」「ぼん太2世の博物誌」「わがまち再発見」を掲載

4. ホームページと検索サイトを使った情報提供の具体例（別紙）

・トップページ

画像は少なく小さく、他ページへのリンクを多く張り、全体の索引をかねる。

・行事案内

案内だけでなく、報告も掲載。開催した展示や行事もフルカラーで伝える。

・流氷情報

網走地方気象台から情報提供を受けわかりやすく加工。FAXで送信していたもの。

・「知床博物館」をNTTgooで検索→182件が該当

当館のページは1・2・10・15（トップページ）・20・24・36・440・41・47～49。

・「知床」をNTTgooで検索→7530件が該当

当館のページは39のみ。

・「半澤中」をNTTgooで検索→2件が該当

すべて当館のページ。

・ロビー展「樺太敷香・半澤中写真展」

インターネット上では世界唯一の情報である。

・「チャンコツ崎」をNTTgooで検索→8件が該当

当館のページは1・4。具体的な内容を含むのは当館の行事報告だけ。

・郷土学習シリーズ

販売物の案内。購入するには電話などでの問い合わせが必要。代金も郵便振替が基本。

・「知床 カタツムリ」をNTTgooで検索→7件が該当

当館のページは2のみ。

・知床博物館研究報告

目次と著者名をすべて掲載。

<参考>

○知床博物館のコンピュータとインターネット利用環境

1. 館内のコンピュータシステム

1) 事務・研究用

コンピュータ：マッキントッシュ8台（内3台は学芸員私物）、ネットワーク：イーサネット、周辺機器：カラープリンタ、レーザープリンタ、フィルムスキャナ、フラットヘッドスキャナ、デジタルカメラ

2) 展示用

マッキントッシュLC4751台（エゾシカクイズ）、同LC5751台（ハードディスク版ホームページ）、エプソンPC-286LE（流氷情報アニメーション）、同PC-286UX（エゾシカの四季）

2. インターネット接続方法

サーバ：オホーツク委員会設置のサーバを利用、アクセスポイント：網走市、接続回線：ダイヤルアップルータによるISDN（事務・研究用のすべてのコンピュータからインターネットへのアクセス、電子メールの同時利用が可能）

○知床博物館ホームページのアドレス

~~URL <http://www.chotoku26.or.jp/shari/museum/>~~